

## 2016年度点検・評価シート

### I 評価項目・担当部局

対象部局	統括：大学自己点検・評価委員会	担当：副学長、地域連携センター、東松山教務事務室（ポター資料館）、国際交流センター
評価基準 8	社会連携・社会貢献 【自己評定 A】	
点検・評価項目(1)	8-1 社会との連携・協力に関する方針を定めているか。	
評価の視点	産・学・官等との連携の方針の明示 【副学長】	
	地域社会・国際社会への協力方針の明示 【副学長】	
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究の成果を適切に社会に還元しているか。	
評価の視点	教育研究の成果を基にした社会へのサービス活動 【地域連携センター】 【ポター資料館（東松山教務事務室）】	
	学外組織との連携協力による教育研究の推進 【地域連携センター】 【東松山教務事務室（ポター資料館）】	
	地域交流・国際交流事業への積極的参加 【地域連携センター】 【国際交流センター】	
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。	
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。 【副学長】	

### II 点検・評価

#### 【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-1	<p>本学は 2013 年度に、大学基準を構成する 10 の基準に従って、「大東文化大学基準別基本方針」を策定し、その一つとして「社会連携・社会貢献に関する方針」を定めた。方針はホームページで公表しているほか、リーフレット『大東文化大学 将来ビジョンと基本方針』（2016 年 2 月総合企画室発行）に記載し、教職員に周知を図っている。その内容は、以下のとおりである（B8-1、B8-2）。</p> <p style="text-align: center;"><b>社会連携・社会貢献に関する方針</b></p> <p>＜基本方針＞</p> <p>本学は、その有する知的資源等を活用して、人材の育成を図るとともに社会から付託された役割を自覚し、社会の形成と発展に寄与する。</p> <p>このため、教育・研究活動の成果を社会に還元するとともに、教職員による社会貢献活動を進め、学生主体型の社会貢献活動を支援する。そのことが本学の教育・研究の質を豊かなものにし、自主性と社会性をもった学生の育成に役立つと考えるからである。</p> <p>以上のことを実現するため、以下の 5 つの基本方針の下に活動を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育面では、学生の社会貢献活動への参画を奨励するために、インターンシップの科目設定やボランティア活動等への単位付与を進める。また、本学が所在する地域社会のニーズを的確に把握し、PBL型（問題解決型）の授業を積極的に展開する。</li> <li>2. 研究面では、研究成果の社会への還元に努めるとともに、自治体・住民・企業・民間団体等と連携し地域の政策課題等に関する共同研究に取り組む。</li> <li>3. 本学の生涯学習講座（オープンカレッジ）を充実させるとともに、学外の生涯学習制度等への協力を通じ、多様な地域交流活動や社会活動に寄与する。</li> <li>4. 社会連携・社会貢献活動に多くの教職員が参画できるよう体制を整備する。 社会連携・社会貢献活動の有効性について、定期的に検証を行う。</li> </ol> <p>本学の社会連携・社会貢献を推進する中心組織は、2006 年 4 月に大東文化大学エクステンションセンターを改組して設置された大東文化大学地域連携センターである。センターには所長（教員）および専門スタッフを置き、「本学の地域社会の発展に寄与する事業の調査・研究及び実施に関する諸施策を企画立案し、これを効率的に遂行する」（大東文化大学地域連携センター規程第 2 条）ために、以下の事業を行うことを定めている（B8-3）。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域社会の発展に寄与する調査・研究</li> <li>②地域の行政機関、団体等との協同による事業</li> <li>③地域社会活動への参画</li> <li>④生涯学習のための講座等の開設</li> <li>⑤その他センターの目的を達成するために必要な事業</li> </ol> <p>地域連携センターは、所長および 8 学部選出の委員等からなる運営委員会を置き、事業計画等センターの運営にかかわる事項について審議する。事務室は公開講座（オープンカレッジ）の拠点である大東文化会館に置かれ、東松山校舎に分室がある。</p>
-----	--

社会連携・社会貢献の適切性については、毎年度の自己点検・評価活動の評価項目の第8章に「社会連携・社会貢献」を設定し、大学、学部・研究科、センター、附置研究所等の取り組みについて検証を行っている（B8-4）。

また、2023年の創立百周年に向けて策定した「大東文化大学将来基本計画 DAITO VISION 2023」（2014年2月17日）のビジョン5に、「『学術の中心』として地域と連携・共同し、社会の発展に貢献する」ことを掲げ、以下の4つの取り組みを強化することになっている（B8-2）。

- ① 地域の生涯学習の拠点となり、学習・文化活動の発展に貢献する。
- ② 地域の諸課題解決のための共同研究を発展させる。
- ③ 学生の地域参加型学習の機会を増やす。
- ④ ボランティア活動を支援し、拡大していく。

国際社会への貢献については、「大東文化大学基準別基本方針」に「国際化に関する方針」を定めている（B8-1）。その内容は、以下のとおりである。

## 国際化に関する方針

### 《基本方針》

本学は、「東洋の文化を基礎として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す」建学の精神を、わが国と国際社会の変化に対応して、「多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」へと発展させ、広く世界に開かれた大学を目指す。

#### 1. 教育研究の国際化の方針

本学は創立から90年を経て、地球的な視野に立った教育研究を推進し、日本と国際社会に貢献できる人材の育成を使命とする。そのために以下の6つの柱により国際化に対応した教育研究を行う。

- (1) アジアから欧米までをカバーする幅広い語学教育の強化
- (2) 多文化共生を目指す異文化理解教育の推進
- (3) 国際的な広い視野と感覚の涵養のための国際教養教育の推進
- (4) 教育研究における海外協定校との連携の強化（ダブルディグリー制度を含む）
- (5) 海外派遣プログラムの拡充
- (6) FD・SDを活用した教職員のグローバルコンピテンシーの開発

#### 2. 留学生の受け入れ方針

本学は、多文化が共生する国際色豊かなキャンパスを目指し、アジアを始めとして世界中から留学生を受け入れる。このために以下の5つの施策を進める。

- (1) 海外協定校との連携強化
- (2) 日本語教育の充実
- (3) 奨学金の拡充
- (4) 留学生の学習・生活支援と環境の整備
- (5) 留学生のキャリア教育の強化

#### 3. 国際交流の推進

- (1) 海外拠点の増設と各拠点の機能強化
- (2) 海外同窓会の拡充
- (3) 留学生と地域との交流の推進

本学の国際貢献を推進する中心組織は、国際交流センター（1999年度設置）である。センターは「本学と海外の大学、研究機関等との教育研究、学術及び文化の交流を推進し、もって本学の教育研究の充実、発展及び質的向上を図ることを目的」（大東文化大学国際交流センター規程第2条）とし、板橋校舎に事務室を、東松山校舎に分室を置く（B8-5）。

センターには所長（副学長）および専門スタッフを置き、以下の事業を行うことを定めている。

- ① 本学の国際交流に関する事業の推進
- ② 海外の大学、研究機関等との協定の締結及びその実施にかかわる事業
- ③ 外国人教員及び研究員の受入れ並びに本学教職員の海外派遣にかかわる事業
- ④ 外国人留学生、研究生及び研修生の受入れ並びに本学学生の海外留学及び研修にかかわる事業
- ⑤ 外国人留学生、研究生、研修生、客員研究員等の日本語教育（日本事情を含む。）にかかわる事業
- ⑥ 国際交流にかかわる学術、文化等に関する資料の収集及び交換並びに国際交流行事の実施にかかわる事業
- ⑦ 外国語の大学要覧、案内等の作成及び広報にかかわる事業
- ⑧ その他前条の目的を達成するために必要と認められる事業

大学の立地する東京都板橋区、埼玉県東松山市など近隣自治体が主催する国際交流事業への講師派遣など、地域社会の国際化への協力を担うのは国際交流センターである。

## 8-2 <<地域志向活動基礎調査>>

地域連携センターは、2013年5月から6月にかけて、学部と法務研究科を対象に「地域志向活動基礎調査」を実施した(B8-6)。調査の目的は、(1)教育面の活動(地域についての学習、地域が求める人材の育成など)、(2)研究面の活動(地域課題を解決するための研究、研究成果の還元、技術指導など)、(3)社会貢献面の活動(子供の学び支援、高齢者・社会人の生涯学習、商店街活性化など)の3分野について、本学の専任教員が個人として、また学部・学科、法務研究科として行っている活動の実態を把握することであった。3分野は、文部科学省が2013年度～2014年度に実施した補助事業「地(知)の拠点整備事業」の設定分野に準拠したものである。

回答があったのは、8学部19学科のうち、文学部日本文学科、同教育学科、同書道学科、外国語学部中国語学科、法学部法律学科、同政治学科、国際関係学部国際関係学科、同国際文化学科、経営学部企業システム学科、環境創造学部環境創造学科、スポーツ健康学部スポーツ科学科、同健康科学科の12学科および法務研究科である。調査の結果、対象となる活動数は、教育面が20、研究面が58、社会貢献面が111、合計で189活動であった。

以下は、3分野について、大学、学部・学科が取り組んでいる特徴的な活動事例である。

### (1) 教育面の活動

東松山校舎では、国際関係学部がPBL型授業として、キャンパスの所在する東松山市のさまざまな課題を授業で研究し、学生が市側に政策提言(プレゼンテーション)を行う授業を導入している(国際関係特殊講義半期科目「地域文化の探求」)(B8-7)。2015年度は、東松山市役所商工観光課から出された「東松山市の観光を振興するための具体的な方策を提案せよ」との課題に対して、市役所からの講師派遣、学生によるヒアリング調査、グループディスカッションなどを通じて、研究成果がまとめられ、12月17日に東松山市役所総合会館において最終報告会が行われた。(B8-8)

2016年度より、宮城県東松島市の事業協力を得て①『東松島食べる通信』の市内購読者数の拡大戦略、②東松島市の交流人口拡大方策(観光産業の復活)③東松島市の新しいコミュニティの形成と課題(市民による新たな東松島の街づくり)を現地でのフィールドワークを交えながら実施することになっている。(根拠資料に追記有り)

板橋校舎では、行政側の政策課題を授業で学習して単位認定するPBL型授業は行われていないが、法学部政治学科では、2016年度より、板橋区職員の派遣講師によるオムニバス授業「地域政策総合研究」が開講されることになっている(B8-10)。

### (2) 研究面の活動

本学はキャンパスのある東京都板橋区と協定を結び、2000年度から共同研究(地域デザインフォーラム)を行ってきた(B8-18)。本学と板橋区役所それぞれから数名の研究員を出し、2年間を1期として、例えば「人口減少社会における地域行政のあり方」といったテーマで共同研究を推進し、その成果は2014年度までに24冊のブックレットにまとめられた。現在は第7期として「人口減少社会」「板橋プロモーション」の2つテーマについて本学から8名、板橋区から9名の職員とで共同研究が進められている。

また、東松山キャンパスのある東松山市とは、2012年度から、市側が提案した「中心市街地活性化方策」「農業振興方策」の2つのテーマで、共同研究を進めてきた。板橋と同様に、テーマごとに双方から数名の研究員が研究チームに所属し、テーマに関係する近隣の先進自治体等への視察等を行って、2013年度に簡単な報告書をまとめた。

### (3) 社会貢献面の活動(B8-11)

本学を代表する社会貢献活動は、板橋校舎・大東文化会館および東松山校舎で開講している「オープンカレッジ」である(B8-12、B8-21 d2-表 51)。地域連携センターが所管するこの講座は、1993年秋季に「公開講座」の名称で開講されて以来、20年余の歴史を有し、受講者は2000年以降で2万人を超えている。このほか、板橋区教育委員会と本学が隔年で共同開催し、本学側は各学部が回り持ちで担当する公開講座(直近では2015年秋にスポーツ・健康科学部が担当)があり、多くの地域住民が受講している。

埼玉県東松山市との間では「子ども大学ひがしまつやま」を2014年度から開講している。この取り組みは一般的に県内各市町村の教育委員会と大学とで実施されるが、本学と東松山市の場合、高坂地区の文教施設が共同体となって運営をしている。

2015年度は、全6回に亘って講義が行われ、埼玉県子ども動物自然公園、(株)日立製作所中央研究所の協力を得ながら実施された。

(根拠資料に追記有り)

学生による社会貢献活動には、さまざま団体や個人による取り組みがあるが、全学の組織的活動の一つとして、宮城県東松島市の被災者への支援活動があげられる。これはキャンパスの所在する東松山市が、「山」と「島」の1字違いの被災地である東松島市に職員派遣等の支援活動を行い、本学にも協力要請がなされたことから始まったものである。2012年度は、秋祭りの「ちびっこ相撲」支援に本学相撲部を派遣し、2013年度以降は、文化団体連合会所属の学生管弦楽団が「復興応援コンサート」を東松島市と共同開催している。

東日本大震災の被災地への復興支援は、ゼミ単位でも行われている。これら団体・個人によるさまざまな支援活動は、学生への教育という観点からも意義深いものである。

なお、本学では、ボランティアなど学生の社会貢献活動を奨励するために、顕著な功績をあげた学生に「大東文化大学ベストボランティア賞」を授与する制度（大東文化大学社会貢献活動功労者表彰）を設けている（B8-11）。

国際交流センターの取り組みとし、埼玉県に関して、2015年度県国際化助成事業に申請し、本学の企画が採択された。この結果、県助成金（1,429,000円）の交付により、2015年8月、東松山キャンパスにおいて4泊5日のグローバルキャンプ埼玉（英語漬けキャンプ）を開催した。同キャンプに、県内の高校生23名、大学生11名、社会人4名、計38名が参加した。また、第16回英語スピーチコンテストにおいて、県後援等の事業の承認を受け、副賞として県内企業が作成するミニ地球儀の提供を受けた。さらに、県が主導する公益団法人埼玉県国際交流協会グローバル人材育成センター埼玉（GGS）と連携し、「埼玉発世界行き」奨学金の受給（6名）、外国人留学生向け就職セミナー、ホームステイ事業（1名）、交流事業などに本学外国人留学生と日本人学生が関わった。市区町村に関して、東松山市国際交流協会が主催する交流事業（国際交流パーティー・語学講座など）へ留学生の派遣、東松山市・鶴ヶ島市・川越市・板橋区など近隣の小中学校が行う異文化間交流授業に留学生を派遣した。

また、「ピーターラビット」の原作者の貴重図書等の資料を蒐集・展示する大東文化大学ピアトリクス・ポター資料館（B8-20）は、開館から10年目の2016年3月末現在、累計入館者数が172,085人で、文化施設として広く認知、利用されている。

このほか、学部・学科、研究科単位でも、それぞれの特色を活かしたさまざまな形態の社会貢献活動が行われている。スポーツ・健康科学部が大学周辺の高齢者、児童を対象に実施しているスポーツ・健康指導、国際関係学部が近隣住民に提供している「アジア芸能の夕べ」などはその好例である。

以下、大学として取り組んでいる代表的な社会連携・社会貢献活動を、一覧表で示す。

## 1. 地方自治体等との連携

### （1）東京都板橋区と連携

- ・大東文化大学と板橋区教育委員会との共催公開講座（平成27年度）

テーマ：「身体と健康・スポーツ」 会場：大東文化会館1階 ホール 時間：13:30～15:30

回	日 程	講座内容	講 師
1	10月 3日（土）	歩くことと健康	スポーツ科学科教授
2	10月10日（土）	動作のしくみ：心と身体との関係	スポーツ科学科教授
3	10月17日（土）	健康診断データの見方	健康科学科教授
4	10月24日（土）	AEDって何??～心肺蘇生のすすめ～	健康科学科教授
5	10月 7日（土）	ストレスと健康	スポーツ科学科教授
6	10月14日（土）	老化を防ぐ食生活	健康科学科准教授
7	10月21日（土）	子どもの発育発達とトレーニング	スポーツ科学科教授
8	10月28日（土）	第二次健康日本21と身体活動基準	スポーツ科学科教授
受講者データ		受講申込定員	150人
		受講申込者数	100人

- ・なかいた環創堂の活動

事業名	概要
①ゆるキャラを使った広報	学生が制作した着ぐるみを中板橋商店街でのイベントに使用し、「中板橋商店街」および「なかいた環創堂（大東文化大学）」の広報活動を行った。
②へそ祭りへの協力と参加	「へそ祭り」の準備作業の協力と参加。祭りの一部を学生が企画し、準備、広報活動、踊り、屋台出店などを行なった。
③中板橋商店街歳末セールでのイベント「サンタトナカイタ」の企画・実行	「クリスマスセール」の企画、飾り付け、広報活動の協力。巨大ケーキを来街者に無償で提供。模擬店の出店や吹奏楽団の演奏会を企画し実施した。
④顔はめパネルを使った広報	中板橋商店街の行事毎に、出店した屋台の脇にパネルを設置。「なかいた環創堂（大東文化大学）」の広報活動を行なった。
⑤さくら祭への協力と参加	中板橋商店街主催「さくら祭」に参加し、屋台出店の協力をした。
⑥10周年記念シンポジウムの開催	環創堂創設10周年を記念してシンポジウムを開催し、基調講演、パネルディスカッション等を行った。中板橋商店街、板橋区役所、卒業生の参加もあった。

・「みらいネット高島平」の活動  
環境創造学部の教員と学生、高島平住民の有志によって立ちあげた、高島平団地の課題を協働して解決して  
いこうとするプロジェクト。

事業名	概要
①コミュニティ・カフェ・グリーンの運営	学びあい教室（毎週定例の講座と、月に一度の講座や特別講座）の開催
②インターネットラジオの配信	学生と地域の住民と一緒にラジオ番組を作成する。

・板橋区と大東文化大学との連携事業

主管課	事業名	内容
生きがい推進課	高齢者大学校（グリーンカレッジ）	講師派遣等。
教育委員会事務局生涯学習課	大東文化大学公開講座（隔年実施）	大東文化大学と板橋区教育委員会が共催して、区内在住・在勤・在学者を対象に大学公開講座を実施。
総務部人事課	地域デザインフォーラム	地域社会の様々な課題について、区と大学が「協働」し、解決策を共同研究している。平成12年度から始まり、平成27年度から平成28年度まで第7期として活動する。
産業経済部産業振興課	起業アイデアコンテスト	平成14年地域デザインフォーラムの一環で始まった学生向けビジネスアイデアコンテスト。行政側の視点から外部オブザーバー・第二次審査委員で参加する。

## （2）東松山校舎周辺地域における連携

・東松山市との地域連携事業（平成27年度）

①きらめき市民大学、大学院への講師派遣（下記参照）
②「子ども大学ひがしまつやま」の開校 テーマ：（下記参照）
③第38回日本スリーデーマーチ大会運営ボランティア派遣 日程：平成27年11月1日（日）～2日（月） 教職員延べ15名派遣
④東松山市 東松島市支援事業実行委員会委員（監事）： 地域連携センター事務室主査
⑤東松山市基本構想審議会委員： 国際関係学部教授
⑥東松山市指定管理者選定委員会委員： 国際関係学部教授
⑦子ども大学ひがしまつやま実行委員会委員 副委員長：東松山教務事務室長 委員：地域連携センター事務室主査

平成27年度「東松山市きらめき市民大学講座」講師の推薦・派遣

	日 程	学 習 内 容	講 師
1	平成27年5月20日（水）	中国の経済-中国経済は崩壊するのか-	国際関係学部教授
2	平成27年6月3日（水）	韓国の文化-「韓流」のゆくえ-	国際関係学部教授
3	平成27年6月3日（水）	環境の汚染菌について	スポーツ・健康科学部講師
4	平成27年6月4日（木）	アウトドアの楽しみ方	スポーツ・健康科学部教授
5	平成27年10月28日（水）	まったなし日本の財政状況	経済学部教授
6	平成27年12月2日（水）	自然環境の科学-森林植生を中心として-	環境創造学部実験助手
7	平成28年1月21日（木）	夢を追い求めるということ-ソチオリンピックを実例として-	スポーツ・健康科学部講師
8	平成28年1月27日（水）	中世の物流	文学部教授
9	平成28年2月10日（水）	工芸と近代西洋美術	文学部准教授
10	平成28年2月24日（水）	化学物質汚染	経営学部教授
11	平成28年3月3日（木）	舞台芸術としてのフィギュアスケート	外国語学部准教授
12	平成28年3月3日（木）	スポーツと健康	スポーツ・健康科学部教授

平成27年度「子ども大学ひがしまつやま」の実施状況

	日 程	学 習 内 容	講 師
1	平成 27 年 10 月 18 日 (日)	からだのふしぎ「肺」をのぞいてみよう	スポーツ・健康科学部准教授
2	平成 27 年 10 月 25 日 (日)	光のふしぎを学ぼう	日立製作所中央研究所
3	平成 27 年 11 月 7 日 (土)	今日はみんなが大東生	陸上競技部、地域研究会所属学生
4	平成 27 年 11 月 15 日 (日)	どうぶつしあわせ大作戦	埼玉県こども動物自然公園
5	平成 27 年 11 月 29 日 (日)	おおむかしの東松山について学ぼう	東松山市埋蔵文化センター
6	平成 27 年 12 月 6 日 (日)	トレーニング科学について学ぼう	スポーツ・健康科学部講師

### (3) 宮城県東松島市との連携事業

#### ①大東文化大学全學應援復興応援活動 (JR 仙石線再開通記念式典)

日程：平成 27 年 5 月 30 日 (土)  
 場所：宮城県東松島市野蒜市民センター  
 概要：派遣学生 20 名・運営スタッフ (教職員) 6 名

#### ②大東文化大学東松島復興応援講演会 「あの日が変わった自分の生き方」～東松島に生きる熱き男達の復興への道のり～

日程：平成 27 年 7 月 14 日 (火)  
 場所：大東文化大学東松山キャンパス 60 周年記念講堂  
 概要：聴講者 245 名

#### ③大東文化大学管弦楽団復興応援コンサート

日程：平成 27 年 8 月 8 日 (土)  
 場所：宮城県東松島市コミュニティセンター  
 概要：派遣学生 21 名・運営スタッフ (教職員) 10 名 来場者数 147 名

#### ④大東文化大学ローバースカウト部復興応援ボランティア活動

日程：平成 28 年 2 月 28 日 (日)～3 月 6 日 (日)  
 場所：宮城県東松島市 宮戸島地区を中心に (地元ボランティア活動団体との協力事業)  
 概要：派遣学生 8 名

#### ⑤東松島市あんでなしよつぷ「まちんど」との事業協力

期間：通年事業  
 場所：東松山キャンパス内 売店 「進明堂」にて実施  
 概要：東松島市特産品等の販売協力 (焼海苔、木工製品、航空自衛隊関連グッズ 他)

### (4) 埼玉県ときがわ町との連携事業

#### ①小学校でのバスケットボール指導 バスケットボール部員

派遣先：萩ヶ丘小学校 日程：平成 27 年 5 月 13 日 (水) 2 名

#### ②小学校での水泳指導 水泳部員

派遣先：玉川小学校 日程：平成 27 年 6 月 24 日 (水) 2 名  
 派遣先：萩ヶ丘小学校 日程：平成 27 年 7 月 3 日 (金) 2 名  
 派遣先：明覚小学校 日程：平成 27 年 7 月 7 日 (火) 2 名

#### ③小学校での持久走指導 陸上競技部員

派遣先：萩ヶ丘小学校 日程：平成 27 年 11 月 9 日 (月) 2 名  
 派遣先：玉川小学校 日程：平成 27 年 11 月 10 日 (火) 2 名  
 派遣先：明覚小学校 日程：平成 27 年 11 月 17 日 (火) 2 名

#### ④中学生の大学一日体験

依頼先：都幾川中学校 日程：平成 27 年 11 月 24 日 (火) 58 名  
 依頼先：玉川中学校 日程：平成 27 年 12 月 2 日 (水) 45 名

#### ⑤ときがわ町スポーツ講演会 講師： スポーツ・健康科学部教授

「指導者としての心構え」 日程：平成 28 年 2 月 18 日 (木)

#### ⑥スポーツ連携事業 女子バレーボール部員

派遣先：ときがわ町玉川トレーニングセンター スポーツ教室「バレーボールミニクリニック」  
 日程：平成 28 年 2 月 6 日 (土) 24 名

⑦小学生のためのアジア理解講座「ガムラン体験」 依頼先：萩ヶ丘小学校 日程：平成28年2月9日（火）
⑧小学生のためのアジア理解講座「韓国を知るための授業」 国際関係学部民族資料研究班所属学生 派遣先：萩ヶ丘小学校 日程：平成28年2月12日（金）

**(4) 埼玉県ときがわ町との連携事業**

①埼玉県中山間地域ふるさと事業調査研究事業「中山間ふるさと支援隊」 鳩山町高野倉地区での大豆栽培 <大豆播種作業> 日程：平成27年7月4日（土） 学生：8名 <除草、中耕・培土> 日程：平成27年7月31日（金） 学生：5名 <小学生の枝豆収穫体験> 日程：平成27年10月15日（木） 学生：6名 亀井小学校児童：15名 <先進地視察> 日程：平成27年10月25日（日） 学生：4名 山梨県身延町 <大豆刈り取り作業> 日程：平成27年12月12日（土） 学生：2名 <大豆脱穀作業> 日程：平成28年1月15日（金） 学生：6名 <最終報告会> 日程：平成28年2月4日（木） 学生：5名 於：飯能市市民活動センター <醤油絞り体験> 日程：平成28年2月24日（水） 学生：3名 於：ヤマキ醸造株式会社
②中学生のためのアジア理解講座「インド舞踊に触れる」 依頼先：東松山市立白山中学校 日程：平成27年12月4日（金）
③東松山市健康長寿講演会 日 程：平成28年1月17日（日） 講 師：スポーツ・健康科学部准教授 テーマ：健康長寿は食にあり～食と健康の科学～
④板橋区教育委員会「東京駅伝大会に向けた練習会」 陸上競技部員・コーチ 派遣先：板橋区新河岸陸上競技場 日程：平成28年1月30日（土） 7名 板橋区在住中学生：76名

**2. オープンカレッジ（公開講座）実施状況（平成27年度）**

・春期講座

校舎	講座名	受講者数	講座名	受講者数	講座名	受講者数
板橋校舎	書道（隸書）	10	絵と書のコラボレーション	8	篆刻(石印) 夏期クラス	10
	書道(楷書) 1	12	書道（篆書）	15	書道（篆書）夏期クラス	9
	書道(楷書) 2	12	書道（楷書）夏期クラス	12		
大東文化会館	榛名由梨・萬あきらのFOR EVER! タカラヅカ	17	よくわかる中国事情	11	フラワーアレンジメント	9
	明解！日本文化の諸相	10	囲碁を楽しむ（初～中級編）	24	楊名時太極拳	20
	『十八史略』を味読する	27	囲碁を楽しむ（上級編）	17	英語(初級)	15
	生きた『論語』を楽しもう！	28	ワールドトラベルナビゲーター	10	英語(中級)	12
	イタリアの言語文化：言葉と絵画と映画の世界	12	「イエス・キリスト」、「源氏物語」、そして「トマト」	8	中国語を楽しもう（中国語中級クラス）	13
	ヨーロッパ絵画の魅力	6	短歌実作入門	15	韓国語（中級）	8
	『西行物語』を読もう	9	中国の歴史 Part9	26	韓国語（会話）	5
	『論語』『孟子』『荀子』	6	中国水墨画	13	書道（かな入門）夏期クラス	8
	日本古代史講座	11	篆刻を楽しむ	7	書道（かな）夏期クラス	22
漢字の話	12	書道（かな）	20			
東松山校舎	日本文化へのいざない-茶・花・歌・舞-	6	書道（漢字）1	12	アクアフィットネス	18
	万葉集	12	書道（漢字）2	10	英語（初級）	13
	俳句のよろこび（木曜日クラス）	15	遊びの美術・初歩からの万華鏡づくり	5	英語（中級）	13
	俳句のよろこび（土曜日クラス）	12	書道（かな）	16	簡単！中国語（中国語初級クラス）	8

映画で探る 21 世紀文化史	6	中国水墨画	10	中国語を楽しもう (中国語中級クラス)	4
森林セミナー	6	陶芸 (手捻り)	12	活かしてみよう! 中国語 (中国語中級αクラス)	4
『十八史略』を味読する	23	陶芸 (電動ろくろ)	10	韓国語 (初級)	5
生きた『論語』を楽しもう!	31	フラワーアレンジメント	13	韓国語 (中級)	12
江戸期の財政改革者たち	8	楊名時太極拳	16	韓国語 (中級)	10
特別講座/日本の世界遺産を学ぶ	20	硬式テニス教室 (初・中級者)	13		
考古学と万葉集	18	中高齢者向けテニス&フィットネス	6		
春期講座合計		68 講座		受講者数 856	

・秋期講座

校舎	講座名	受講者数	講座名	受講者数	講座名	受講者数
板橋校舎	書道 (隸書)	11	篆刻 (石印)	4	書道 (楷書) 冬期クラス	13
	書道 (楷書) 1	12	絵と書のコラボレーション	11	書道 (篆書) 冬期クラス	8
	書道 (楷書) 2	11	書道 (篆書)	15		
大東文化会館	FOREVER! タカラヅカ	10	囲碁を楽しむ (中級編)	13	楊名時太極拳	19
	日本文化の諸相~真の美の追求~	11	囲碁を楽しむ (上級編)	12	『論語』『孟子』『荀子』	6
	『十八史略』を味読する	22	ワールドトラベルナビゲーター	11	囲碁を楽しむ (初級編) 冬期クラス	12
	生きた『論語』を楽しもう!	25	私の歴史学入門 (2)	8	囲碁を楽しむ (中級編) 冬期クラス	10
	イタリアの言語文化: 言葉と絵画と映画の世界	6	短歌実作入門	15	囲碁を楽しむ (上級編) 冬期クラス	9
	岡倉天心の旅路	8	中国の歴史 Part10	31	短歌実作入門冬期クラス	15
	『方丈記』を読もう	8	こんなに楽しい伝統芸能の世界①	6	中国水墨画冬期クラス	12
	日本古代史講座	12	中国水墨画	13	篆刻を楽しむ冬期クラス	7
	漢字の話	12	篆刻を楽しむ	5	書道 (かな入門) 冬期クラス	8
	日本と世界の先住民族	3	書道 (かな)	17	書道 (かな) 冬期クラス	24
	よくわかる中国事情	12	福を招く「切り絵」をつくる	9	楊名時太極拳冬期クラス	16
	囲碁を楽しむ (初級編)	13	フラワーアレンジメント	8		
東松山校舎	日本文化へのいざない茶・花・歌・舞	10	転換期の歴史事象を考える	19	音楽の世界 Part26	15
	万葉集	11	書道 (漢字) 1	10	楊名時太極拳	17
	俳句のよろこび (木曜日クラス)	13	書道 (漢字) 2	1	硬式テニス教室 (初・中級者)	13
	俳句のよろこび (土曜日クラス)	12	遊びの美術・万華鏡をつくる	5	アクアフィットネス	16
	映画で探る 21 世紀文化史	5	書道 (かな)	12	『十八史略』を味読する冬期クラス	22
	『十八史略』を味読する	17	中国水墨画	11	書道 (漢字) 冬期クラス	13
	生きた『論語』を楽しもう!	27	書道 (行草書)	8	楊名時太極拳冬期クラス	14
	歴史からひも解く人々の暮らし	7	陶芸 (手捻り)	13	アクアフィットネス冬期クラス	11
	山岳信仰の歴史学	19	陶芸 (電動ろくろ)	7		
秋期講座計		69 講座		受講者数 841		

8-3	

【効果が上がっている事項】

8-1	
8-2	<p>地域連携センターが主催するオープンカレッジ（公開講座）は、20年余の実績をもち、受講者数も安定しており、地域社会の教養講座の役割を果たしている（B8-21 d2-表 51）。</p> <p>板橋区との共同研究（地域デザインフォーラム）を約10年間継続して行い、成果は2014年度までに24冊のブックレットとして発行されている。共同研究の過程で、区側と大学側との連携・交流（学生のインターンシップ、区職員による大学院でのオムニバス方式での特別講義など）が深まるとともに、研究成果は区政運営の参考とされている（B8-18）。</p>
8-3	

【改善すべき事項】

8-1	
8-2	<p>社会連携・社会貢献は、いまや大学に課せられた重要な任務であるが、2013年の「地域志向活動基礎調査」から明らかになったのは、活動への参加について学部・学科また個々の教員間で意識の差が大きいということである（B8-6 p.4）。一方で、教職員や学生によって行われている社会貢献、国際貢献は多岐にわたるが、それらが大学によって適切に集約されているわけではない。本学の社会連携・社会貢献を質量ともに充実させていくためには、これらのことの改善が必要である。</p>
8-3	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

B8-1	<p>大東文化大学の基準別基本方針 HP  <a href="http://www.daito.ac.jp/information/about/basicpolicy.html">http://www.daito.ac.jp/information/about/basicpolicy.html</a> &lt;既出&gt;B1-5</p>
B8-2	<p>『大東文化大学 将来ビジョンと基本方針』（2016年2月総合企画室発行）          &lt;既出&gt;B1-4</p>
B8-3	<p>大東文化大学地域連携センター規程</p>
B8-4	<p>大学ホームページ（自己点検・評価シート（全学的視点））  <a href="http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/zengaku.html">http://www.daito.ac.jp/information/examine/inspection/zengaku.html</a> &lt;既出&gt;B1-16</p>
B8-5	<p>大東文化大学国際交流センター規程 &lt;既出&gt;A3-4-17</p>
B8-6	<p>地域志向活動基礎調査結果に基づく課題と対応について</p>
B8-7	<p>2015年度シラバスキャリア特殊講義（地域文化の探究）新里孝一教授</p>
B8-8	<p>国際関係学部ホームページ（国際関係学部からのお知らせ）  <a href="http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_9415.html">http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_9415.html</a></p>
B8-9	<p>国際関係学部ホームページ（国際関係学部からのお知らせ）  <a href="http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_11086.html">http://www.daito.ac.jp/education/international_relations/news/details_11086.html</a></p>
B8-10	<p>法学部ホームページ（法学部からのお知らせ）  <a href="http://www.daito.ac.jp/education/law/news/details_9872.html">http://www.daito.ac.jp/education/law/news/details_9872.html</a></p>
B8-11	<p>大学ホームページ（教育・研究 地域連携）  <a href="http://www.daito.ac.jp/research/region/index.html">http://www.daito.ac.jp/research/region/index.html</a></p>
B8-12	<p>大東文化大学オープンカレッジ2015 春期講座/秋期講座のご案内</p>
B8-13	<p>月刊『大東書道』誌500号刊行記念－昭和・平成、書の伝承。（平成23年8月4日刊行） &lt;既出&gt;A1-19</p>
B8-14	<p>書道研究所ホームページ（第57回全国書道展のお知らせ）  <a href="http://www.daito.ac.jp/research/laboratory/calligraphy/event/all_japan.html">http://www.daito.ac.jp/research/laboratory/calligraphy/event/all_japan.html</a></p>
B8-15	<p>大東書道研究第22号 2015年3月20日発行 &lt;既出&gt;B3-16</p>
B8-16	<p>大東文化大学書道研究所所報6号「桐墨」</p>
B8-17	<p>平成27年度文字文化教育推進事業の実地について</p>
B8-18	<p>大学ホームページ 地域連携センター（板橋区・大東文化大学地域デザインフォーラム）  <a href="http://www.daito.ac.jp/designforum/index.html">http://www.daito.ac.jp/designforum/index.html</a></p>
B8-19	<p>平成28年度事業計画兼業務確認シート(案)（地域連携センター）</p>
B8-20	<p>大東文化大学 ビアトリクス・ポター資料館パンフレット          NEWSLETTER Vol.8、Vol.9 &lt;既出&gt;A2-6</p>
B8-21	<p>大学データ集 &lt;既出&gt;B1-22</p>

〔追加資料〕

大学ホームページ 地域連携センター（本学で子ども大学ひがしまつやまを開講）

[http://www.daito.ac.jp/news/details\\_20049.html](http://www.daito.ac.jp/news/details_20049.html)

大学ホームページ 地域連携センター（東松島フレンドシップPBL始まる）

[http://www.daito.ac.jp/news/details\\_20408.html](http://www.daito.ac.jp/news/details_20408.html)

Ⅲ【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動を拡充する。具体的には、(1) 教育面の活動、(2) 研究面の活動、(3) 社会貢献面の活動の3分野において、教員の積極的な参加を促し、活動の拡充を図る。	・「地域志向活動基礎調査の結果に基づく課題と対応について」の表1において、教育面、研究面、社会貢献面のそれぞれの全学の活動数に対する当該学部の活動数の構成比が教員構成比に比して低調な学部について、改善されている。	→			B		
	8-2 〔国際交流センター〕 ・東松山市や板橋区主催の行事（教育・安全・防災活動など）に持続的に協力する。	・左記のことが行われている。	→			S		
14年度 目標	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動を全学的に推進していくための体制の整備を図る。	・左記の体制が構築されている。	→	B				
	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動に関する基本方針の全学的な浸透をはかる	・全学の活動数に対する当該学部の活動数の構成比が教員構成比からみて低調な学部が、2013年度に比べて改善されている。		B				
	8-2 〔地域連携センター〕 ・オープンカレッジの開講講座数等の増加をはかる。	・オープンカレッジでの専任教員による開講講座と受講者数が2013年度に比べて改善されている。	→	A				
	8-2 〔地域連携センター〕 ・地元自治体との共同研究を拡充する	・板橋区との再開した共同研究第6期が行われている。 ・東松山市との共同研究の第2期が開始されている。	→	B				
	8-2 〔国際交流センター〕 ・国際交流事業に関して板橋区との連携の方途を探る	・左記のことについて板橋区との意見交換が行われている。	→	C				
	15年度 目標	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動を全学的に推進するための体制の整備を図る。	・左記の体制が構築されている。	→		B		
	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動に関する基本方針の全学的な浸透を図る。	・全学の活動数に対する当該学部の活動数の構成比が教員構成比からみて低調な学部が2014年度に比べて改善されている。	→		B			

	8-2 〔地域連携センター〕 ・オープンカレッジの講座の開講数等の増加を図る。	・オープンカレッジでの専任教員による開講講座と受講者の数が 2014 年度に比べて改善されている。	→	A			
	8-2 〔地域連携センター〕 ・地域連携協定を締結している地方自治体との地域連携事業を拡充する。	・板橋区との地域連携協定に基づく第 7 期デザインフォーラム、共催講座などが行われている。 ・東松山市との第 2 期協働研究その他の地域連携事業が行われている。	→	S			
			→	B			
16 年度 目標	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動を全学的に推進するための規程等の整備などを含めた体制の充実を図る。	・センター規程の見直し、センター運営委員会の充実に向けた検討など、左記の体制の整備・充実が図られている。	→		B		
	8-2 〔地域連携センター〕 ・社会連携・社会貢献活動に関する基本方針に基づく事業の拡充を図る。	・社会連携事業・社会貢献活動に取り組む学部等の数および教員・事務職員・学生の数が 2015 年度に比べて増えている。	→		A		
	8-2 〔地域連携センター〕 ・オープンカレッジの講座の開講数・受講者数などの増加を図る。	・オープンカレッジでの開講講座および受講者の数が 2015 年度に比べて増えている。	→		B		
	8-2 〔地域連携センター〕 ・地方自治体（板橋区、東松山市、鳩山町、東松島市など）との連携事業の拡充を図る。	・板橋区との地域連携協定に基づく第 7 期地域デザインフォーラム、共催講座などの連携事業が行われている。 ・東松山市との各種連携事業が行われている。 ・鳩山町との地域連携協定が締結され、新たな展開が行われている。 ・東松島市における地域連携・支援事業が新たな段階に入っている。 ・上記以外の地方自治体との連携事業が展開されている。	→		S		